

賀川豊彦活動開始から100年

思想継承へ記念式典

中央区で来月 講演や鼎談開催

神戸

「日本のガ
ンシー」とも
呼ばれた社会運動家、賀
川豊彦（1888～19
60年）が、神戸で救貧
活動を始めて今年で10
0年になるのを記念した
式典が12月22日、神戸市
中央区港島中町6のポ
ートピアホール（神戸ポ
ートピアホテル内）であ
る。

賀川は神戸市兵庫区で
生まれ、徳島県で育った。
1909（明治42）年12
月、神戸のスラム街に住
み込んで救貧活動を開
始。常に貧困問題や労働
問題と向き合ってきた。

して講演する。このほか、
日野原氏、今井氏、神戸
大の野尻武敏名誉教授
の3人による鼎談もあ
る。

午後2～5時。先着5

関東大震災では被災者救
援に尽力。ノーベル平和
賞、文学賞候補にもなっ
た。

午後2～5時。先着5

記念式典は「神戸から

兵庫区で29日

共生の社会へ 地域づくりの シンポジウム

兵庫区で29日

明日へー共に生きるため
に」をテーマに開催。賀
川の晩年を知る聖路加
国際病院の日野原重明
理事長が「賀川豊彦献身
100年を機に、いま私
たちが『共生の社会』と題

障害者や高齢者らが共
生できる社会を目指す
「地域づくりシンポジウ
ム」が29日午後1時から、

神戸市兵庫区新開地5、
神戸アートビレッジセン
ターである。

近畿労働金庫の主催。
「神戸からの発信」をテ
ーマに、日本の社会運動
家の草分け、賀川豊彦の
生涯を描いた映画「死線
を越えて 賀川豊彦物
語」を上映するほか、芸
術活動で障害者を支援す
る「財団法人たんぼほの
家」の播磨靖夫理事長が
基調講演する。

障害者支援などに取り
組むNPO代表やコープ
こうべ役員らが「協同の
地域づくり」をテーマに
パネル討論。阪神・淡路
大震災で被災した女子大
学生が、ネパールの貧困
地区でボランティア教師
になるドキュメンタリー
映画「With...若き女
性美術作家の生涯」を上
映する。

無料。定員150人。

申し込みは近畿ろうきん

地域共生推進室 ☎06・

6449・0842